

アセアン+3 緊急米備蓄推進事業 [新規]

【78(0)百万円】

対策のポイント

「アセアン+3 緊急米備蓄」(APTERR)の取組を推進するための支援を行います。

<背景/課題>

- ・「アセアン+3 緊急米備蓄」(APTERR)は、東アジア地域の食料安全保障の強化と貧困撲滅を目的とし、大規模災害等の緊急時に備える仕組みとして、アセアン+3(アセアン、日本、中国及び韓国)により2012年に協定が発効し、恒久的活動が行われています。
- ・これまで、我が国はAPTERR協定に基づき、我が国の備蓄米等を拠出し、アセアン諸国における台風や洪水の被災者等に対して支援を実施しているところです。これら我が国貢献は、各国から高く評価され、また、国際会議の場において、我が国からこれら貢献を強く発信するとともに、本取組の重要性を訴えているところです。
- ・東アジア地域においては、近年の気候変動による集中豪雨や台風の強大化及び干ばつ等が頻繁に発生し、その被害は深刻化してきています。また、先進国と途上国が取組べき普遍的な目標である「持続的な開発目標(SDGs)」における気候変動の対応策としても、本取組に対する我が国の積極的な貢献への期待度及び重要性は増してきています。
- ・こうした中、我が国は、東アジア地域における食料安全保障の強化と東アジア各国との連携をさらに強化する観点から、APTERRの取組を推進するための支援を行います。

政策目標

東アジア地域における大規模災害等の緊急時に米を支援するアセアン+3 緊急米備蓄の取組を推進し、食料安全保障の強化と貧困の撲滅を図る。

<主な内容>

1. APTERR協定に基づくアプター事務局の運営経費を支援

8(0)百万円

APTERR協定に基づくアプター事務局の運営経費に対する拠出を行います。

2. 現物備蓄事業等への支援

70(0)百万円

台風や洪水等の緊急時に備える仕組みとして、各国からのニーズが高い現物備蓄事業を実施するとともに、災害時の非常食として有効な加工米飯の活用を検証を行います。また、申告(イヤマーク)備蓄事業の試行的実施により、その運用方法等の検証を行います。

拠出先：アプター事務局
事業実施期間：平成30年度～平成34年度

お問い合わせ先：
大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
政策統括官付貿易業務課 (03-6744-1387)

アセアン+3緊急米備蓄推進事業

事業の内容・取組

- アプター（APTERR：アセアン+3緊急米備蓄）は、我が国、中国、韓国及びアセアン10か国が参加する国際協定（2012年7月発効）
 - 東アジア地域の食料安全保障の強化と貧困の撲滅を目的とし、大規模災害等の緊急時に放出するコメ備蓄制度。
 - 我が国は、被災国に対して備蓄米等を拠出。これら我が国貢献は、各国から高く評価されており、また、首脳会議等の場において、我が国より食料安全保障分野での貢献を強く発信。
- ⇒近年の気候変動により、自然災害が頻繁に発生し、その被害は深刻化。「持続的な開発目標（SDGs）」における気候変動の適応策としても本取組の必要性は更に高まっており、我が国貢献の期待度及び重要性は増している。

資金の流れ

- APTERR協定に基づく拠出（義務的拠出）
 - ・ 基金に対する拠出（～29年度）
日本100万ドル（20万ドル×5年）、中国100万ドル、韓国100万ドル、アセアン諸国合計100万ドル
 - ・ 運営費に対する拠出（30～34年度）
日本7万5千ドル/年、中国7万5千ドル/年、韓国7万5千ドル/年、アセアン諸国合計7万4千ドル/年
- 現物備蓄事業に対する拠出（任意拠出）

国

拠出金

アプター事務局

事業イメージ・具体例

現物（現金）備蓄による対応

災害時の初期対応として、予め被援助国等に備蓄された現物（又は現金）備蓄を放出。備蓄期間経過後は貧困緩和事業に活用。

⇒各国からのニーズが高い本事業を実施するとともに、災害時に即応可能な非常食として加工米飯の活用を検証。

○これまでの日本の支援実績 ※（）書きは協定発効後の実績

- （1）現物備蓄（予め被災可能性がある国で米備蓄を行う）
フィリピン、ラオス他 計 約3,490トン（1,430トン）
- （2）現金での備蓄（アプター事務局にある予算を活用して現地での米購入等で対応）
ミャンマー、インドネシア、フィリピン他
計 約760トン（230トン）



申告（イヤマーク）備蓄による対応

申告した数量の範囲内で、予め加盟国間で契約を締結。災害時にその契約に基づき放出するプログラム。

⇒ニーズのある国と契約を行い、その運用方法等を検証。

○APTERR協定における申告数量

日本25万トン、中国30万トン、韓国15万トン、アセアン諸国8.7万トン

期待される効果

- ①東アジア地域の食料安全保障の強化及び貧困の撲滅
- ②アセアン諸国への我が国のプレゼンスの維持・向上
- ③人道的支援を通じた戦略的コメ・加工米飯の輸出